

教科内容学会 第4回研究大会(2017) プログラム

○会期：2017年7月8日(土)、9日(日)

○会場：奈良教育大学(次世代教員養成センター2号館多目的ホール)

○参加費：会員4000円、学生会員3000円、一般会員4000円

7月8日(土)

受付 12:30-13:00

◆開会行事 13:00-13:30

会長挨拶 川並弘純

主催学長挨拶 加藤久雄(奈良教育大学学長)

大会実行委員長挨拶 花木 良(奈良教育大学)

◆シンポジウム

テーマ：教員養成における教科専門の在り方—「教科内容の新しい学び」の授業開発—

1. 趣旨説明：奈良教育大学：花木 良

○趣旨：教員養成大学・学部の教育課程においては、免許法の改正で「教科の内容及び構成に関する科目」を新たに設定することとされ、また、大学院修士課程においては、専修免許の実質化のために「教科内容構成」科目等を新たに設定しカリキュラムを改善するところが求められています。更に大学によっては、修士課程の教科教育分野を教職大学院に移行することが進められており、伝統的な教科専門の教育内容を教職大学院のカリキュラムに即したのものとして開発することが求められています。

我が国の戦後の教員養成における教科専門は、学問・科学・芸術・技術等を深く知るという意味で教科教育分野の教育を通して日本の学校教育に大きく貢献してきました。しかし、上記の教員養成の課題は、教員養成における教科専門の在り方が問われているものと言えます。そこで、教員養成における教科専門の果たしてきた役割を確認するとともに、新しい時代に求められている教科専門の在り方を教科内容学の観点から捉え、提案したいというのがこのシンポジウムの趣旨です。

2. 基調講演 13:30-15:00

○講演者

○○○○(文部科学省交渉中)

蛇穴治夫(北海道教育大学学長)

3. シンポジスト提案：15:10-17:30 (司会：花木 良、小野瀬雅人)

○花木 良(奈良教育大学)：修士課程における「新しい学びと授業構成(数学)」の授業開発

○石川聡子(大阪教育大学)：学部における「教科内容構成(理科)」の授業開発

○綿引勝美(鳴門教育大学)：修士課程における「教科内容構成(体育)」の授業開発

○福田景道(島根大学教育学部) 学部における「教科内容構成(国語)」の授業開発

4. 指定討論者

○増井三夫(聖徳大学副学長)

◆情報交換会 18:00-20:00 奈良教育大学生協食堂(4000円)

7月9日（日）

受付：9:00—9:20

◆研究発表：9:20—11:20

総会：11:30—12:00

<昼休み：12:00—13:00>

◆課題研究：13:00—16:00

1. テーマ：プロジェクト研究の報告と討議—各科教科内容の体系性の研究—

2. 趣旨説明：西園芳信（鳴門教育大学名誉教授）

○趣旨：教員養成大学・学部の教科専門を「教科内容学」として学問としての独自性を創出するためには、教科内容学会の役割として、各教科の教科内容の体系性について提案することだといえます。そこで、本学会では、第1に各教科の教科内容の体系性について、第2に全教科を俯瞰した体系性、すなわち教科内容学の原理について究明することを目的としたプロジェクト研究を推進することとしました。このようなことを目的にした本プロジェクト研究会は、これまでに2回の研究会（第1回、平成28年12月3日、聖徳大学、第2回、平成29年3月20日、奈良教育大学）を開催（予定）し、検討してきました。この課題研究は、本プロジェクト研究会の研究成果を報告し、目的について会員・参加者との意見交流をすることで、次のプロジェクト研究に反映させたいというのが趣旨です。

3. 司会：増井三夫（聖徳大学副学長）西園芳信（鳴門教育大学名誉教授）

4. 提案者

○社会科の教科内容の体系（下里俊行：上越教育大学教授）、

○理科の教科内容の体系（佐藤勝幸・胸組虎胤：鳴門教育大学教授）

○美術科の教科内容の体系（新井知生：島根大学教育学部教授）

○数学科の教科内容の体系（松岡 隆：鳴門教育大学教授）

○音楽科の教科内容の体系（中島卓郎：信州大学教育学部教授）

○全教科の教科内容を俯瞰した教科内容学の原理（浪川幸彦：椋山女学園大学教授）